



桜谷軽便鉄道の車両たち

写真	種別	番号	外形(L×W×H)	出力	製造年月	備考
①	ガソリン動車	キハD11	2670×760×1550	300W	2012年6月	静岡鉄道風
②	電車	10	2400×760×1500	600W	2011年8月	上田交通風
	ガソリン機関車	DD11-9	2020×710×1620	540W	2010年8月	譲渡
③	客車	ホハ7	2420×735×1500	-	2009年12月	
④	客車	61	1090×535×1370	-	2009年4月	下部軌道用
	客車	201	1180×690×1540	-	2008年7月	貸出中
⑤	電気機関車	デキ3	1360×705×1540	270W	2006年7月	
⑥	電車	モハ1408	2400×730×1500	220W	2005年5月	秋保電車風
⑦	貨車	ホト71	1800×610×520	-	2004年11月	草軽電鉄風
⑧	客車	ホハ150	2400×700×1500	-	2004年7月	草軽電鉄風
⑨	電気機関車	デキ12	1200×600×1500	232W	2004年1月	草軽電鉄風
⑩	ガソリン動車	キハ3	2180×730×1550	232W	2003年2月	2012年9月廃車
	ガソリン機関車	B5	1200×700×1400	200W	2002年5月	譲渡
⑪	客車	302	1220×700×1450	-	2002年2月	
⑪	客車	301	1220×700×1450	-	2001年12月	
⑫	蒸気機関車	8	1400×520×1470	0.2馬力	2000年11月	
⑬	バッテリー機関車	7	1100×520×1460	116W	2000年5月	蒸気機関車型
	客車	ホハ201	1800×510×1450	-	2000年1月	廃車・解体
	電車	デハ6	1840×510×1480	116W	1999年10月	花巻電鉄風
	電気機関車	5	990×505×1460	200W	1999年5月	廃車・解体
	ガソリン機関車	4	1000×505×1480	116W	1998年10月	譲渡
	客車	101	1020×510×1490	-	1998年10月	廃車
	人車	-	1110×510×1400	-	1998年6月	廃車・解体
	バッテリー動車	3	960×450×630	116W	1997年12月	譲渡
	鉱車	20	1000×520×680	-	1997年7月	廃車
⑭	バッテリー機関車	2	960×470×670	100W	1997年5月	
	バッテリー機関車	1	900×450×600	20W	1996年11月	廃車・解体
⑮	台車	16	850×460×710	-	1996年7月	
	鉱車	10	780×510×660	-	1996年7月	譲渡
⑯	台車	28	1000×480×460	-	1995年8月	

2012年10月1日発行

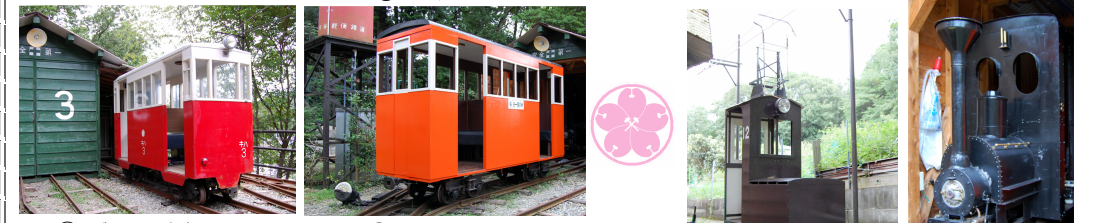
2012年10月現在在籍していない車両は灰色で記しています。



① ガソリン動車 キハD11 ② 電車 10 ⑤ 電気機関車 デキ3



③ 客車 ホハ7 ⑥ 電車 モハ1408 ④ 客車 61 ⑬ バッテリー機関車 7



⑩ ガソリン動車 キハ3 ⑧ 客車 ホハ150 ⑨ 電気機関車 デキ12



⑪ 客車 301・302 ⑭ バッテリー機関車 No.2 ⑦ 貨車 ホト71 ⑮ 台車 16 ⑯ 台車 28

軌道線の思い出



桜谷軽便鉄道は1995年に豊能町ときわ台の住宅内で誕生しました。当初は台車に重量物を載せて運ぶ実用軌道でしたが、次第にガソリン機関車やSL型バッテリー機関車が登場し、箱型の客車を運行するようになります。裏庭では、筑から水がしたたる茶庭の脇を15インチゲージの線路が横切っていました。2001年に南山線が開通してからは『軌道線』として細々と運行していましたが、現在はすべての軌道を撤去し、平凡な小住宅に戻りました。